

国史跡「仙台城跡」

災害復旧工事情報

No. 1 平成 24 年 11 月 1 日

このページでは東日本大震災で被災した仙台城跡の復旧工事の状況と、工事に伴う発掘調査の状況について随時お知らせいたします。

【①大手門北側土塀・石垣】

土塀は瓦と粘土を交互に積み上げて作られていました。土塀を覆っていたモルタルの除去と、崩落した部分の解体後、転倒した石垣の修復を行いました。今後は、土塀の基礎を直してから、解体時に出た土と瓦を再利用して積み直しを行う予定です。



【②中門石垣】

中門の北側石垣は、昭和 52 年にも修復工事が行われていたことがわかり、その際には石垣の裏側をコンクリートで固めていたことが分かりました。現在、石垣下部の解体を行っています。



仙台城跡周辺略図

【③本丸北西石垣】

本丸北西は石垣上部の発掘調査を行い、遺構の有無を確認し、記録の終了したところから石垣の解体を行っています。

石垣背後の調査では、昭和 14 年頃に行われた修復の掘り込みと、それより古い修復の掘り込みが、地層の違いで確認できました。また、築城期の可能性のある整地層も確認されています。玉石がまとまって出土した部分があり、機能を検討しています。

